

# 木曽ヒノキ林を未来に 引き継ぐ取組

～「木曽悠久の森」について～



樹齢三百年程度の木曽ヒノキの天然林(幹回り2m超の大木が混じる)

長野県木曽郡の上松町、王滝村、大桑村と岐阜県中津川市の国有林には、ヒノキ、サワラ等の天然の温帯性針葉樹林が広く分布しています。

中部森林管理局では、この区域の名称を公募により「木曽悠久の森」として、これを未来に引き継ぐため、その保存や復元を図るとともに、将来にわたって持続的に利用するための取組を始めました。

## 木曽地方の森林の歴史

木曽地方では、安土桃山時代から江戸時代初期にかけて大規模な森林伐採が奥地まで進み、樹木が伐り尽くされた「尽き山」状態になりました。

尾張藩は、1665年、山林を総て藩所有の「御山」としたうえで、平時の伐採等を禁じた「留山」、鷹の営巣地保護を目的とした「巢山」、地域住民の利用を認める「明山」の3つに区分しました。

木曽五木(ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ)の伐採禁止を通じて資源の保全と回復を図り、一方では、地域住民による木曽五木以外の伐採など人の手が加わる中で、木曽五木を主体とする現在の森林が形成されてきました。

### 江戸時代までの木曽の森林と人のかかわり

木曽式伐木運材絵図より



元伐(もとぎり)之図

最も普通に行われた斧伐りの方法



株祭(かぶまつり)之図

伐倒木にその梢を挿して山の神に感謝

図1 「木曽悠久の森」位置図



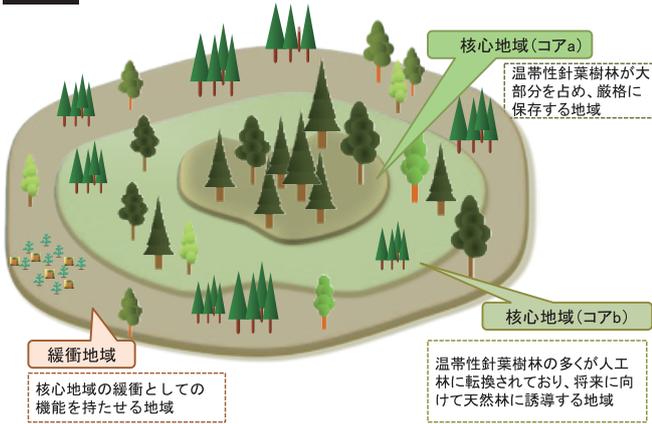
このような歴史的背景の中、天然のヒノキ、サワラ等の温帯性針葉樹林がまとまって存在する木曽地方の森林は、現在では非常に貴重なものとなっています。このため、天然のヒノキ等がまとまって存在する地域を厳正に保存するとともに、現存する人工林を天然林に誘導し、木曽地方の温帯性針葉樹林を復元するため、中部森林管理局は、「木曽地方の温帯性針葉樹林の保存・復元に向けた取組検討委員会」の報告を受けて、平成26年3月に「木曽悠久の森」を設定しました。

区域は、温帯性針葉樹林がまとまりと連続性をもって現存している、長野

## 木曽悠久の森

また、木曽地方は、江戸時代から木工が盛んとなり、現在でも、寺社仏閣用の製材や伝統的な木工品生産がこの地域の基幹産業のひとつとなっています。

図2 「木曽悠久の森」3つの区分のイメージ



県と岐阜県の県境を跨いだ国有林約1万7千haです(図1)。

この区域は、図2のように、①ヒノキ等の天然林がまとまって現存し、厳格に保存しようとする地域(コアa)、②人工林が多くあり、①の地域と同様の植生に還元しようとする地域(コアb)、③区域外との調整機能を持たせる緩衝地域(バッファ)の3つに区分しています。

木曽悠久の森での取組は、数百年後の目指す姿として、直径1mを超える天然ヒノキの大径木を主体に他の温帯性針葉樹と広葉樹が混交する森林や、木曽五木を主体とする温帯性針葉樹が大部分を占める森林を目指す姿として

イメージし、中長期的なビジョンを立てて取組を行うこととしています。

### 木曽悠久の森を保存・復元するための技術

これらの取組を進めるには、天然の力によって次の世代の樹木を発生させる天然更新技術や、人工林を天然林へ誘導する技術などが重要となります。

このため、木曽悠久の森の保存・復元に当たっては、木曽地方で約50年間にわたり試験研究を続けてきている三浦(みうら)実験林の成果を活用することとしています。三浦実験林は、昭和41年に旧王滝営林署管内の国有林に約420haの規模で設定され、信州大学、京都大学、林業試験場(現・国

研)森林総合研究所)等の研究機関の参画を得て、現在まで試験研究が継続されています。

この実験林では、天然更新や人工林を天然林に誘導する技術を確立するため、ヒノキ種子の散布距離、母樹の結実性、稚樹の成立状態、照度や土壌条件の影響などの知見をもとに、天然更新を阻害するササ繁茂の抑制試験や、母樹の配置を考えた小面積皆伐、漸伐(成熟木を数回に分けて伐採する手法)等による更新促進効果の比較試験が行われてきました。

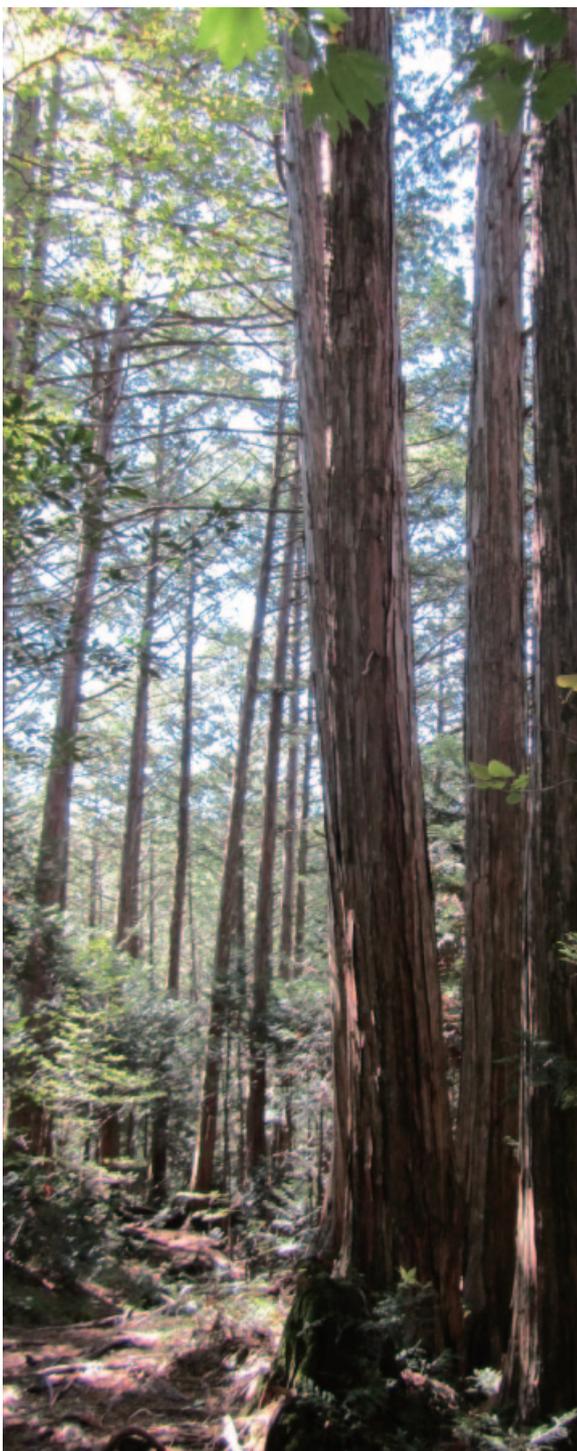
これまでに木曽ヒノキ等の更新技術について一定の成果が得られており、今後、木曽悠久の森での取組に加え、全国の森林施業に役立つ技術として普

及していくことを期待しています。

### 今年度の取組

中部森林管理局では、木曽悠久の森の取組を更に進めるため、平成27年度は、植生管理、森林資源利用、森林利用・地域振興の3つの専門部会を新たに設置したほか、管理基本計画の策定、新たな保護林制度に基づく保護林としての指定、写真コンテストの開催、現地見学会の実施など様々な取組を進めています。

なお、写真コンテストは既に募集を開始していますので、皆様の応募をお待ちしています。詳しくは中部森林管理局のホームページをご覧ください。



木曽悠久の森(赤沢自然休養林)